

令和6年度 事業報告書

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

1 事業実施の成果

令和6年度は、復興庁「心の復興」被災者支援事業補助金、宮城県自死対策強化事業補助金などを受け活動を行いました。

- **冊子「傾聴の力」を発行** 当会発足16年を迎え、これまでの活動や今後の自然災害や防災に役立つ「傾聴のノウハウ」をまとめた冊子「傾聴の力」を発行しました。これからの防災イベントに役立てていただけるよう関係機関に進呈しました。オンライン防災受講者に冊子を活用していただき、オンライン講座を開催しました。河北新報社に冊子の紹介記事が掲載されました。
- **能登半島地震 被災地を訪問し支援** 被災地を訪問し被災者と交流、チラシ等を配付し仮設住宅へ入所したばかりの方々の話を聴きました。また、被災者支援として電話相談にも取り組みました。
- **施設訪問活動** 感染症対策の緩和で訪問要請も少しずつ増えてきましたが本格的な活動には至っていません。その他の活動については感染対策を講じ活動を進めました。
- **「街中カフェ」や「傾聴カフェ」** 傾聴の普及啓発と若い世代の孤立防止に向け、モノ作りを取り入れた「街中カフェ」を継続実施しました。知名度も高まり参加者にも好評です。また、男性向けの「カフェ」も実施、今後の参加者の交流促進が期待できます。東日本大震災後から継続して行っている「傾聴カフェ」は、仙台市、名取市、岩沼市、亘理町の各自治会の協力を得ながら実施しました。昨年度再開した「音楽カフェ」、革ブローチ・革カードケース・ちぎり絵・折り紙・フラワーアレンジメントのモノ作り、箱庭を活用した「箱庭カフェ」も行いました。七ヶ浜町など県内各所のほか、福島県南相馬市県営住宅上町団地などでも実施し、より多くの方々と交流を図ることができました。
- **「サロン」や「電話相談」など継続実施** 「個人宅訪問」「電話相談」「メール相談」も実施。気仙沼市も含めた5地域で取り組んでいる「傾聴サロン」も継続実施しました。昨年度、利用者が3割増えた「電話相談」についてはスタッフの態勢強化を図り対応しました。個人宅訪問傾聴や安否確認を兼ねた孤立防止策として「ふれあい電話サービス」も実施しました。
- **子育て支援事業** 「冒険遊び場」や従前より連携していました仙台市若林区子育て支援「わっか隊」にボランティアを派遣し活動しました。また「認知症カフェ」など他団体主催のカフェにもボランティア派遣しました。
- **傾聴ネットワーク事業** 傾聴ボランティア団体「みやぎ傾聴ネットワーク」とも連携を図り交流するとともに、塩釜市、山元町でスキルアップ研修などに寄与しました。
- **人材育成** 入門講座を仙台市で、養成講座を仙台市と名取市で開催。各市町村や社会福祉協議会や民生委員高齢者福祉部会からの依頼による傾聴ボランティア養成講座、基本講座を出前し、県内各地で実施することができました。初めて学校現場から依頼を受け、宮城県名取高校1学年280名を対象に「傾聴基本講座」を開催しました。会員スキルアップ研修としては、電話相談態勢の充実を図るため電話相談員養成講座を2日間コースで開催。また、リーダー研修、現任者研修など合計15回開催し、電話相談員の増員とスキルアップを図ることができました。さらに、会員研修を2回、メール相談研修2回開催し会員のスキル向上と全体的な態勢強化につなげることができました。
- **公開講座2回開催** 尚絅学院大学心理学類教授の水田恵三氏に「コロナ後の家庭関係における対面の重要性」をテーマに、精神科医の高橋玄氏には「精神科治療における認知行動療法の役割」をそれぞれに講演いただき、一般の方および賛助会員等大勢の参加があり好評でした。

- **活動記録を活用** 研修部で取りまとめた会員の活動記録を各支部定例会で勉強会を行い、会員のスキルアップを図りました。
- **みやぎチャレンジプロジェクト目標額達成** 今年度も参加し、当会活動資金調達に共同募金会と一緒に寄付の呼び掛けを行いました。目標額130万円を達成することができました。
- **会報3回発行** 広報活動として、傾聴活動の報告と啓発を含めて、会報「傾聴だより」を年3回発行しました。
- **みやぎの女性つながりサポート型支援事業** 今年度もみやぎの女性つながりサポート型支援事業を受託し、県南地域を対象に、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、不本意に退職や収入減、苦境に陥ったなど、さまざまな困難や不安を抱える女性や女の子を重点的に支援目的とし、電話相談、対面相談、出張相談会、メール相談を行いました。また「岩沼子ども食堂プラス」「名取わくわくフェスタ」「みやぎNPO祭り」で生理用品を配布しました。
- **女性活躍ネットワーク事業** ファミリー・ウェルビーイング・ラボ代表 安島和仁氏を迎え、講演会及び実践ワークショップを行いました。参加者35名。(大崎、県南地域)
- **全体会12月に開催** 北支部が担当。参加者は71名。NPO法人認知症の予防と遅延のための音楽療法研究所の佐藤里紗さんの講演「音楽療法を体験しよう」や北支部会員黒島武志さんの「高齢者施設長として勤務して気づいたこと」の体験発表の後、グループワークを行いました。全体会終了後にバザーを開催、売上金2万3300円、31名の会員から品物提供がありました。
- **「ふんわりサロン」に参加** NPO法人まちづくりスポット仙台主催の「ふんわりサロン」に参加。観音様の塗り絵や折り紙を取り入れた傾聴&モノ作りを行いました。仙台北部地域での活動として6月まで継続活動します。

コロナ感染症対策が緩和されたとはいえ、今年度も模索しながらの活動でした。会員の活動場の提供と傾聴の普及啓発、孤立対策を目的としてスタートした「街中カフェ」は参加者も多く、今年度から始めた「男性カフェ」は男性会員による円滑な運営で今後の展望が開けました。今年度も社会福祉の増進に寄与することを目標に、地域住民の心に寄り添い傾聴活動を推進しました。

- ※その他助成金先
- ・2024年度日本郵便年賀寄付金配分金
 - ・みやぎの女性つながりサポート型支援事業の委託
 - ・女性活躍ネットワーク事業(大崎、県南地域)
 - ・みやぎチャレンジプロジェクト配分金